



2021年2月12日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問 合 せ 先 取締役管理担当 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第4四半期会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、営業外費用および特別損失を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 営業外費用の内容

当第4四半期会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、総額30百万円（百万円未満切り捨て。以下、同様）の営業外費用を計上いたしました。営業外費用の発生要因は、外貨建て資産の評価替えによる為替差損8百万円、人件費の一括償却による譲渡制限付株式報酬償却7百万円、新株予約権発行費9百万円及び株式交付費4百万円等によるものです。

各種営業外費用の発生により、2020年12月期第4四半期累計期間（2020年1月1日～2020年12月31日）において、外貨建て資産の評価替えによる為替差損17百万円、人件費の一括償却による譲渡制限付株式報酬償却13百万円、新株予約権発行費9百万円及び株式交付費4百万円等により、総額49百万円の営業外費用を計上しています。

2. 特別損失の内容

当第4四半期会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、全社資産の減損損失として総額11百万円の特別損失を計上いたしました。

本特別損失の発生により、2020年12月期第4四半期累計期間（2020年1月1日～2020年12月31日）において、当社が引き受けたUnleash Immuno Oncolytics, Inc.（米国、以下「アンリーシュ社」）の転換社債を取得日を替レートで換算した投資有価証券評価損321百万円、本転換社債にかかる未収利息を2020年第3四半期末（2020年9月30日）時点の替レートで換算した貸倒損失35百万円、及び全社資産の減損損失11百万円、を合計した総額367百万円を特別損失として計上しています。なお、当社はアンリーシュ社との連携をさらに強化し、投資時の目的であった「全身投与可能なウイルスを当社パイプラインに加えて、アデノウイルスのプラットフォームを拡充させること」を目指してゆきます。

3. 業績への影響

上記の営業外費用および特別損失の計上につきましては、2021年2月12日に公表した「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の通りです。

以 上